

製品安全データシート

この安全データシートに記載した情報は、オーキッド製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。

(1) 当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更または、一部を抜粋して使用しないで下さい。

(2) 本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

1. 製品および会社情報

製品名：	オーキッドチャック袋
会社名：	富士工業株式会社
住所：	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-16 神保町北東急ビル 6階
担当部門：	商品戦略本部
電話番号：	03-6758-0792

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類：	分類できない
可燃性/引火性ガス：	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール：	分類できない
支燃性/酸化性ガス：	分類対象外
高压ガス：	分類対象外
引火性液体：	分類対象外
可燃性固体：	分類できない
自己反応性化学品：	分類できない
自然発火性液体：	分類対象外
自然発火性固体：	分類できない
自己発熱性化学品：	分類できない
水反応可能性化学品：	分類できない
酸化性液体：	分類対象外
酸化性固体：	分類できない
有機過酸化物：	分類できない
金属腐食性物質：	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：	区分外
急性毒性(経皮)：	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)：	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)：	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん・ミスト)：	分類できない
皮膚腐食性・刺激性：	分類できない
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性：	分類できない

呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性	区分外
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・毒性(単回暴露)	分類できない
特定標的臓器・毒性(反復暴露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	GHS分類上は特記事項なし
注意書き	
予防策	GHS分類上は特記事項なし
対応	GHS分類上は特記事項なし
保管	GHS分類上は特記事項なし
廃棄	GHS分類上は特記事項なし
GHS分類に該当しない他の危険有害性	情報なし
重要な徴候	情報なし
想定される非常事態の概要情	報なし
国/地域情報	情報なし

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

化学名または一般名	化学式	CAS番号	含有量(%)	官報公示整理番号(化審法・労安法)	労働安全衛生法通知物質	化学物質排出把握管理促進(PRTR)法
ポリエチレン	$-(CH_2-CH_2)_n-$	9002-88-4	80~95	6-1	非該当	非該当
エチレンαオレフィンコポリマー	非公開	非公開	5.0~20.0	非公開	非該当	非該当
その他添加剤	非公開	非公開	1.0~3.0	非公開	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合

高温の熔融樹脂から発生するガスを吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させるとともに、体を毛布で覆い、保温して安静を保つ。呼吸が弱い場合は、衣服緩め気道を確保したうえで酸素吸入を行う。嘔吐がある場合は頭を横に向ける。症状変化が表れた場合は直ちに医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

フィルムが付着した場合、危険性はないが石鹼・水で洗い流す。高温の熔融樹脂が付着した場合は、直ちに水で冷やす等の火傷に対する処置を行い、速やかに医師の診察をうける。

目に入った場合

直ちに清浄な水で15分以上洗眼し、医師の診察をうける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗眼する。眼をこすったり、固く閉じさせてはいけない。

飲み込んだ場合

生理学的には不活性であるが、できるだけ吐き出させ、異常を感じるようであれば医師の診察を受け

る。

最も重要な徴候・症状	特になし
応急措置をする者の保護	特になし
医師に対する特別な注意事項	特になし

5. 火災時の措置

消火剤	小火災:二酸化炭素、粉末、泡 大火災:泡、水
使用してはならない消火剤	情報なし

火災時特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有害ガスが含まれる可能性があるため、消火作業の際には保護具などを着用するとともに煙を吸入しないように注意する。特有の消火方法火元への燃焼源を遮断し、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行い、火災発生場所周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。燃焼・高温により一酸化炭素などの有害ガスが発生することがあるため、呼吸用保護具を着用する。周辺火災の際には、速やかに安全な場所に移動させること。可能であれば散水して冷却すること。

消火を行う者の保護

消火作業は風上から行い、有害ガスの吸入を避ける。必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、酸素呼吸器など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	特になし
環境に対する注意事項	

環境においては長時間分解しないため、環境汚染の原因となるが、水への溶解性は無視できるため、水生生物に対する毒性は弱いと思われる。

封じ込め浄化の方法・機材	掃き集めて回収する。
--------------	------------

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い保管	可燃物を近くに置かない。火気・熱源から遠ざける。
--------	--------------------------

8. 暴露防止および保護措置

設備対策	未設定
管理濃度	未設定
許容濃度	未設定
保護具	未設定
衛生対策	未設定

9. 物理的および化学的性質

外観

物理的状态	固体(常温)
形状	フィルム
色	透明無地または透明フィルムに印刷
臭い(臭いの閾値)	無臭
pH	該当しない
融点/凝固点	100～130℃
沸点・初留点・沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
自然発火温度(発火点)	349℃(ポリエチレン)
燃焼性	可燃性
密度	900～940 (kg/m ³)
溶解性(水)	水に不溶
溶解性(有機溶剤)	データなし

10. 安定性および反応性

安定性	通常の保管、取り扱いにおいて安定。
危険有害反応可能性	通常の保管、取り扱いにおいて安定。
避けるべき条件	熱源、火気
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	熱分解により一酸化炭素が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	知見なし
皮膚腐食性/刺激性	知見なし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	知見なし
呼吸器感作性	知見なし
皮膚感作性	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし
生殖毒性	知見なし
特定標的臓器毒性/単回暴露	知見なし
特定標的臓器毒性/反復暴露	知見なし
吸引性呼吸器有害性	知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	データなし
その他	データなし
残留性/分解性	環境中で長期間分解しない
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
他の有害影響	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。海洋生物や鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄・放出してはならない。

汚染容器および包装

残余廃棄物と同様とする。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

I M D G (国際海上危険物規制)

危険物に該当しない

I A T A - D G R (国際航空運送協会危険物規制)

危険物に該当しない

国連分類

該当しない

国連番号

該当しない

国内規制

海上規制情報

危険物に該当しない

航空規制情報

危険物に該当しない

陸上規制情報

消防法における指定可燃物に該当するので同法の規定に従って輸送する。

輸送の特定の安全対策および条件

輸送前に転倒、落下、破損させないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う

1 5. 適用法令

消防法第9条の4危険物の規制に関する政令第1条の12別表第4「指定可燃物」合成樹脂類(3, 000kg以上)

1 6. その他の情報

引用文献

原材料のSDS

製品評価技術基盤機構(NITE)情報<http://www.safe.nite.go.jp/index.html>

神奈川県環境研究所データベース<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp>

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理的・化学的性質、危険性・有害性などに関してはいかなる保証をなすものではありません。また、法令の改正および新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

本SDSの改訂版を受領した際は、旧SDSを廃棄下さいますようお願いいたします。